

令和 4（2022）年度

第 2 回 ▶ 栃木県地域公共交通活性化協議会

栃木県の公共交通について

もくじ

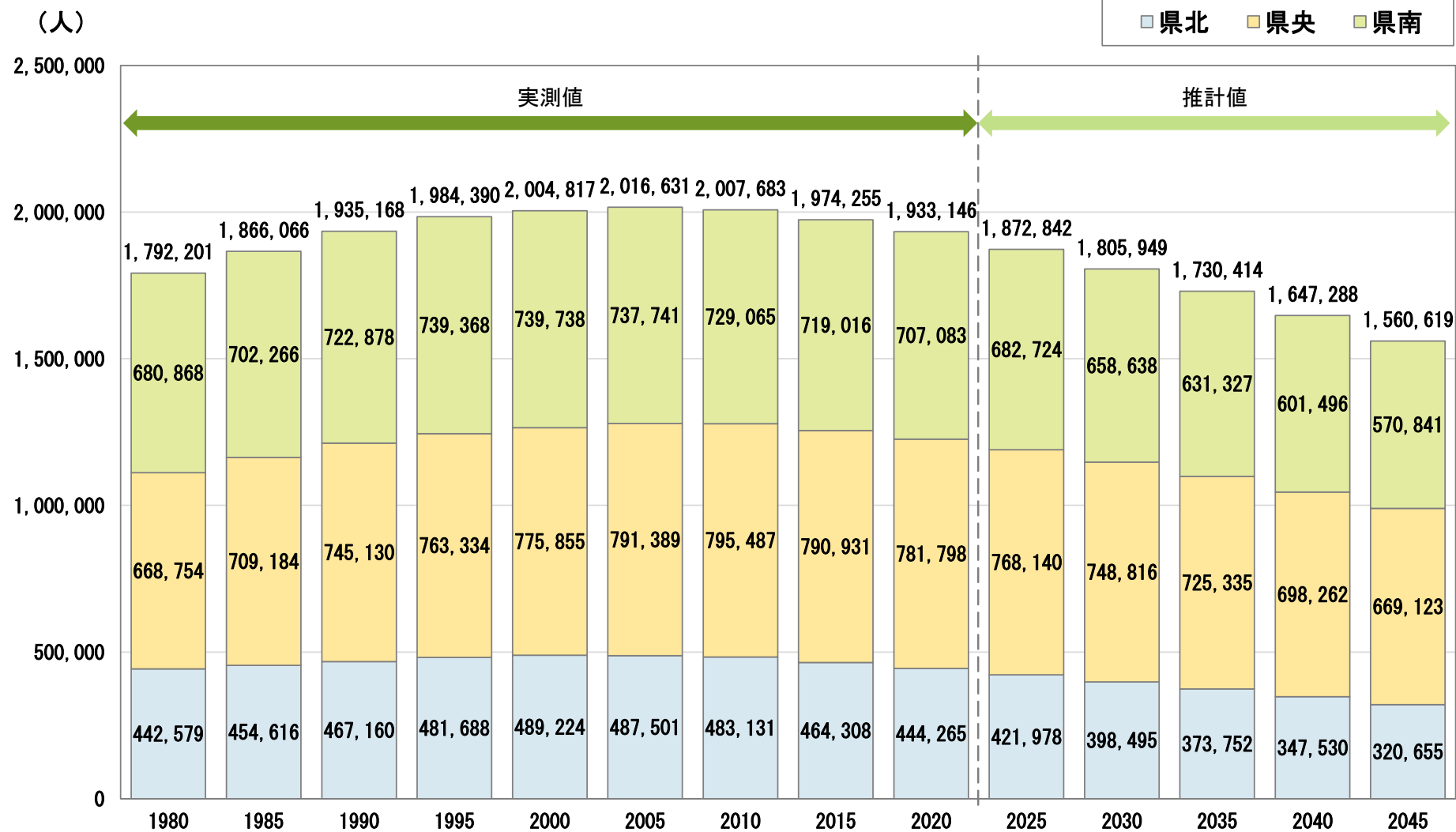
1	栃木県の人口等の現状	2
1-1	人口の推移	2
1-2	高齢化率の推移	3
1-3	人口・高齢者の分布	4
1-4	交通分担率・免許自主返納	5
2	公共交通の現状	6
2-1	鉄道路線網	7
2-2	バス路線網	8
2-3	人口カバー状況（県全体）	9
2-4	人口カバー状況（市町村別）	10
2-5	鉄道・バスの輸送人員	11
2-6	バスの収支率	12
2-7	生活交通運行費補助等の推移	14

1-1 人口の推移

現状

✓ 2005年をピークに人口は減少に転じ、以降、人口減少は加速化

《栃木県の人口推移》

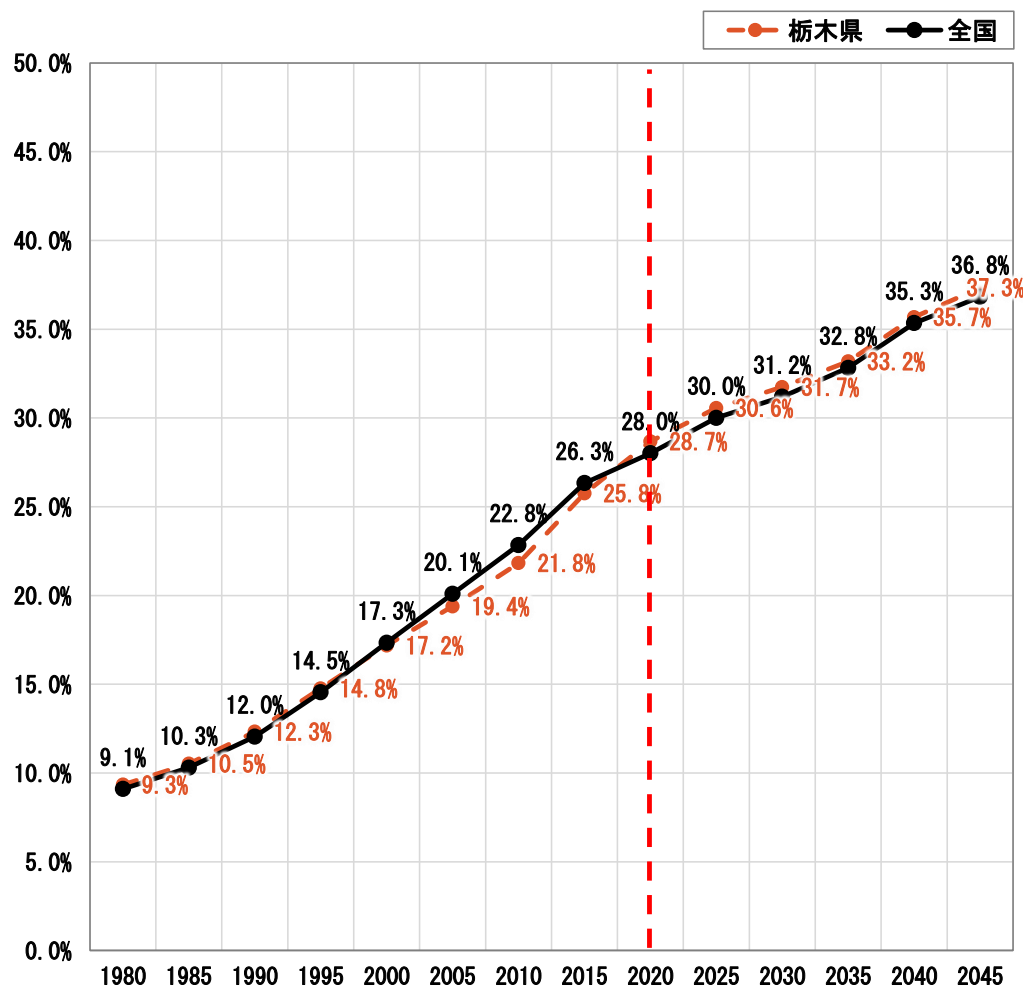


1-2 高齢化率の推移

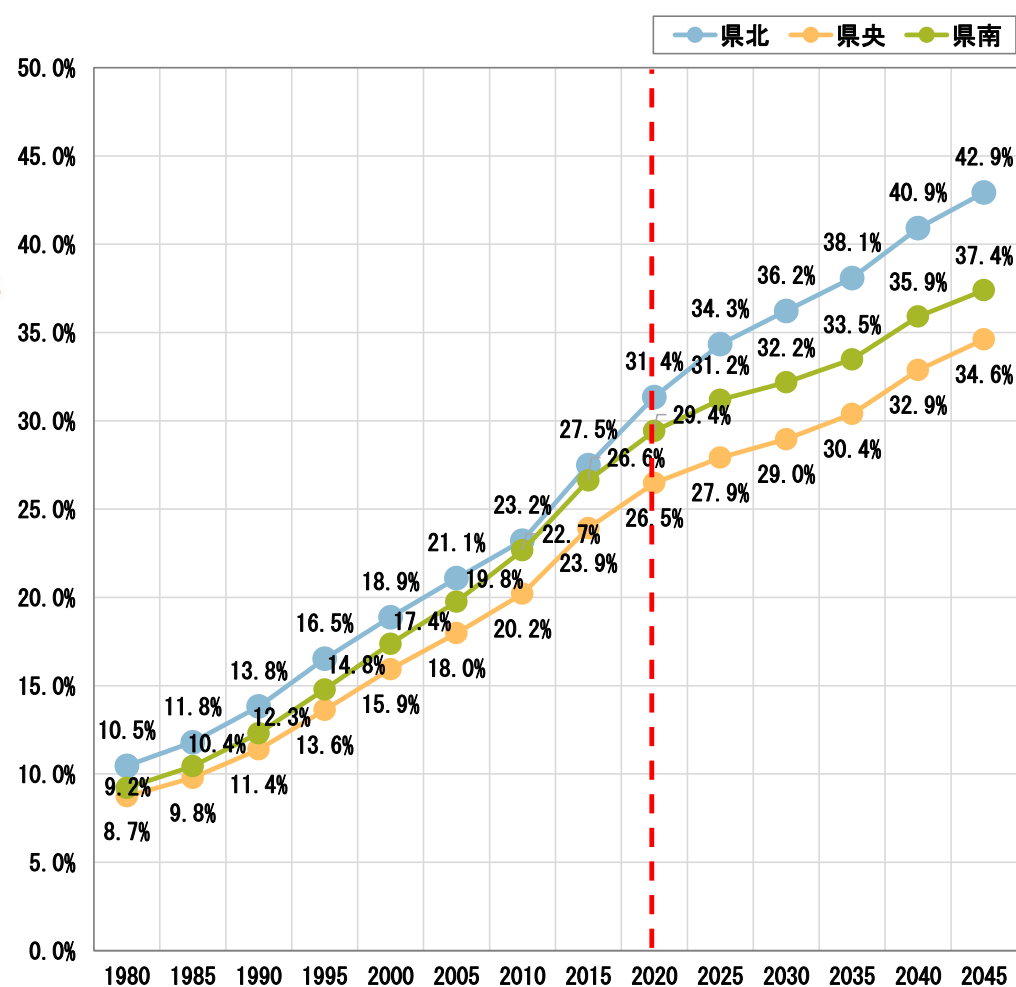
現状

✓ 栃木県は全国と同様に**高齢化が加速**しており、特に県北エリアの加速が進む

《栃木県》高齢化の推移



《エリア別》高齢化の推移



出典：国勢調査（2020年まで）、国立社会保障・人口問題研究所 平成30年推計（2025年以降）

1-3 人口・高齢者の分布

現状

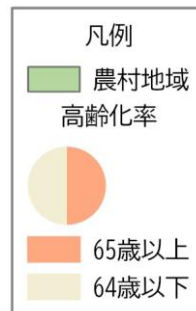
- ✓ 市街地への人口集積、農村部の散居形態
- ✓ 全地域的に高齢化の進展（農村地域において高齢者割合が高い傾向）

《栃木県》人口

市町村名	人口	DID人口※1	人口密度 (人/㎢)	高齢化率	農村地域※2
宇都宮市	518,757	403,616	1244.5	25.0%	
足利市	144,746	91,229	814.3	32.5%	
栃木市	155,549	60,411	469.2	31.6%	
佐野市	116,228	53,645	326.4	30.6%	
鹿沼市	94,033	40,233	191.7	30.3%	
日光市	77,661	7,045	53.6	35.9%	○
小山市	166,666	101,980	970.4	25.1%	
真岡市	78,190	27,154	467.3	27.1%	○
大田原市	72,087	17,526	203.4	28.8%	○
矢板市	31,165	9,948	182.8	33.2%	○
那須塩原市	115,210	30,859	194.4	27.8%	○
さくら市	44,513	-	354.3	26.4%	○
那須烏山市	24,875	-	142.7	37.5%	○
下野市	59,507	34,770	797.8	25.1%	
上三川町	30,806	-	566.4	23.6%	○
益子町	21,898	-	244.9	32.2%	○
茂木町	11,891	-	68.9	42.7%	○
市貝町	11,262	-	175.3	29.5%	○
芳賀町	14,961	-	213.2	32.0%	○
壬生町	39,474	20,016	646.5	29.0%	
野木町	24,913	14,819	823.0	32.5%	
塩谷町	10,354	-	58.8	40.1%	○
高根沢町	29,229	15,858	412.4	25.3%	○
那須町	23,956	-	64.3	40.4%	○
那珂川町	15,215	-	78.9	39.6%	○

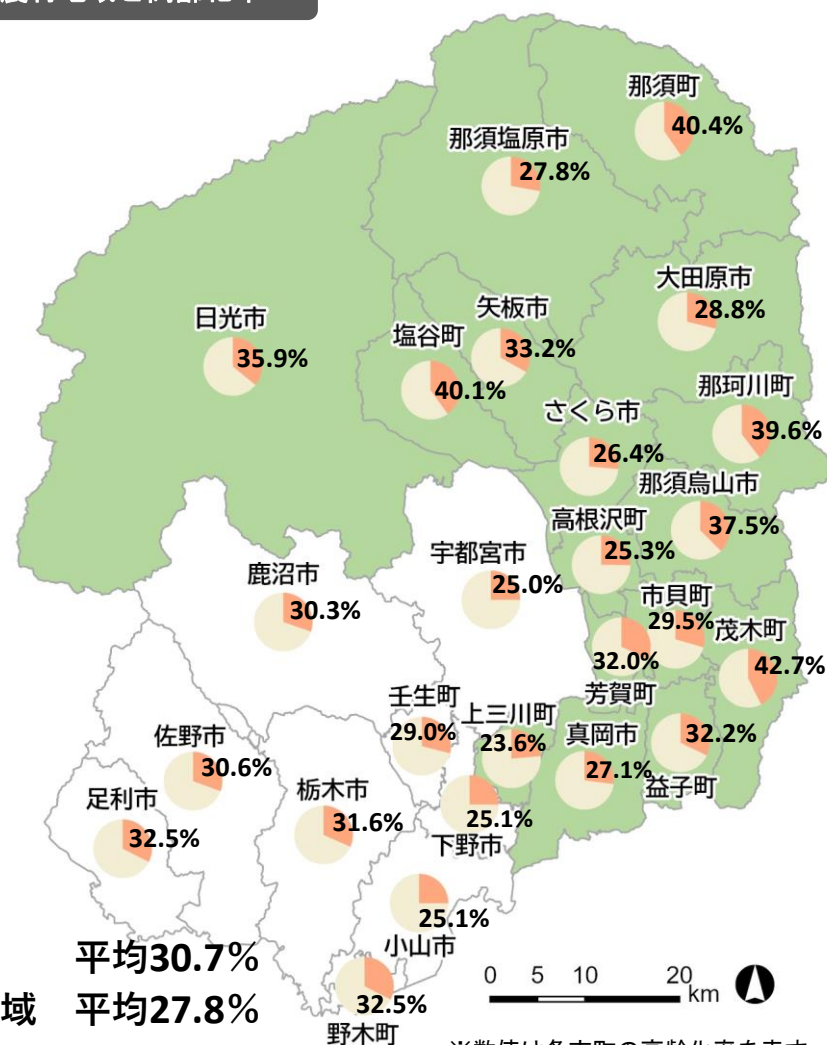
出典：R2国勢調査

《栃木県》農村地域と高齢化率



■ 高齢化率
農村地域
都市的地域

平均30.7%
平均27.8%



※1 DID：人口集中地区（人口密度4,000人/㎢以上の基本単位が隣接し、人口5,000人以上となる地域）

※2 農林水産省『農業地域類型』による、『都市的地域』以外の地域

1-4 交通分担率・免許自主返納

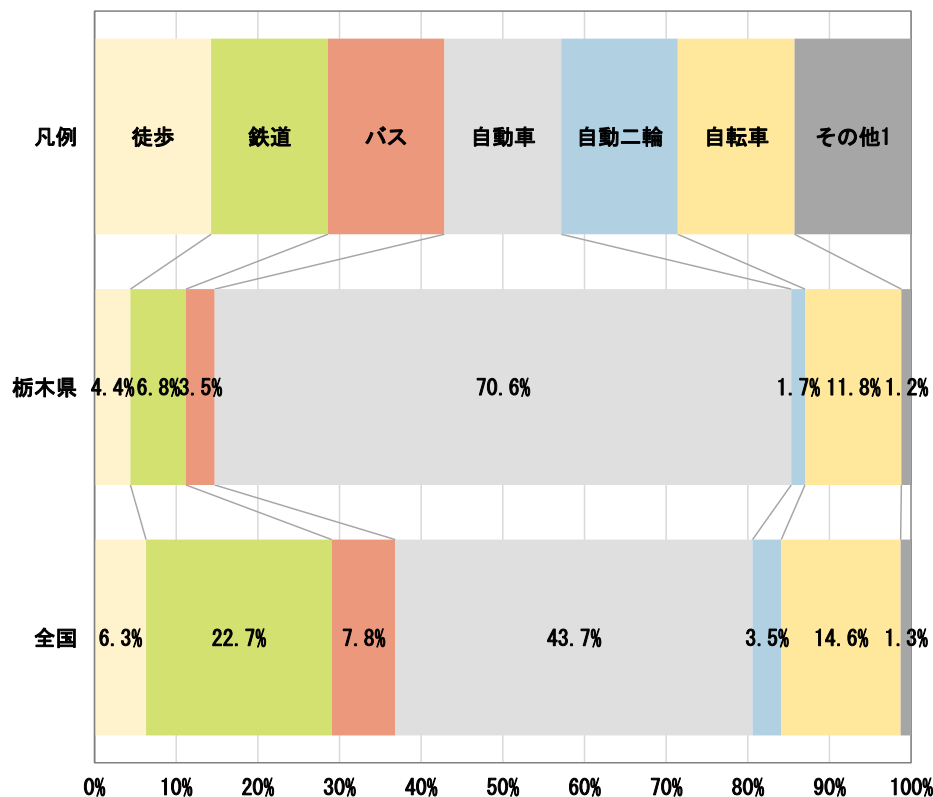
※交通分担率について、R2国勢調査は2022年7月下旬に公表予定であり、公表後、市町村別に検討予定

現状

- ✓ 栃木県の通勤・通学における公共交通の分担率は低く、自家用車に依存している
- ✓ 人口あたりの自家用車保有台数は全国第2位であり、全国有数のクルマ社会となっている

通勤・通学の交通分担率（H22国勢調査より）

栃木県における自家用車の保有および利用の状況



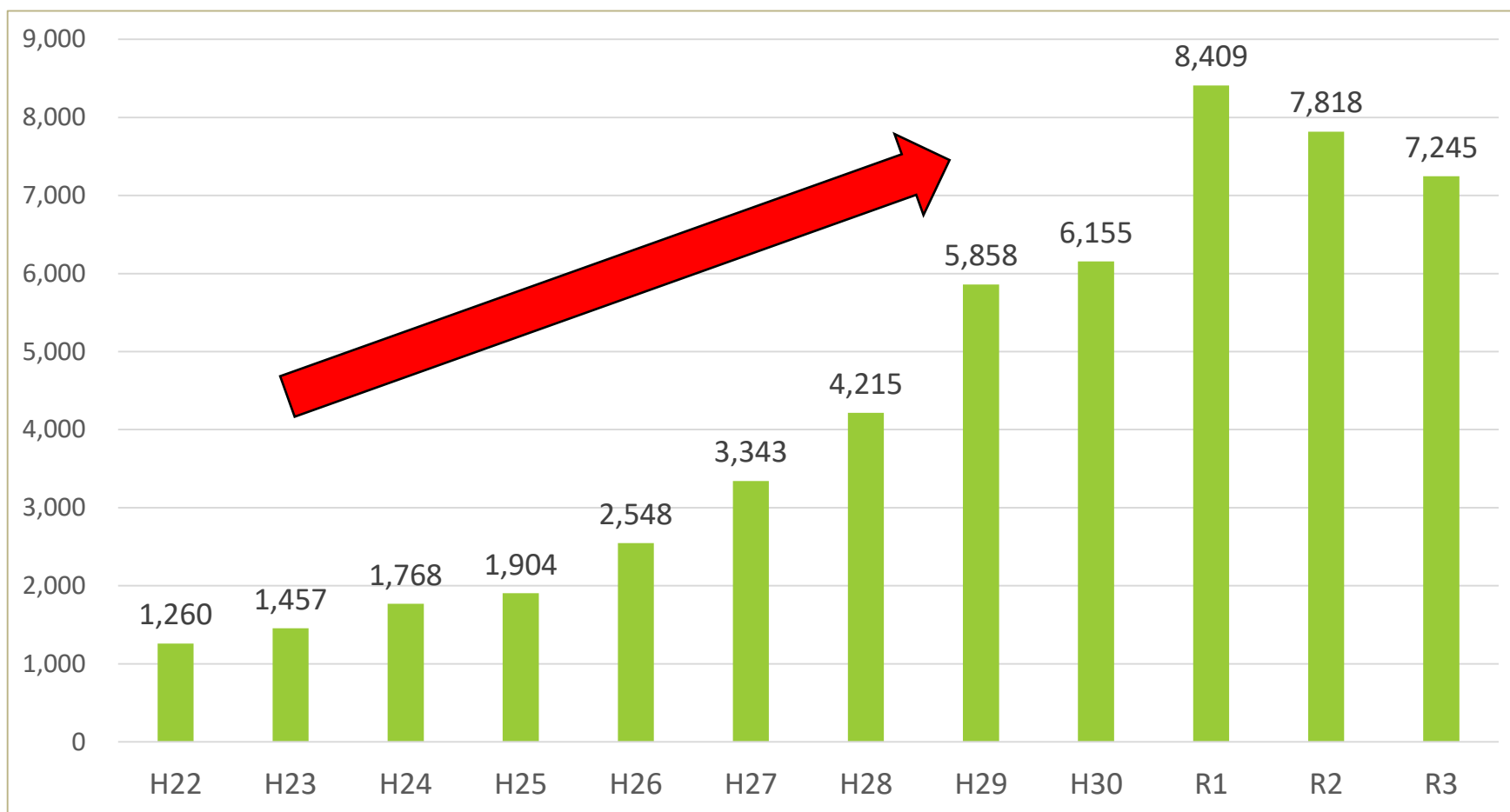
出典：H22国勢調査（集計は栃木県自転車活用推進計画より）

項目	栃木県	茨城県	群馬県	全国平均
自家用車の保有台（人口100人あたり） （令和3年3月 （一社）自動車検査登録情報協会）	68.6台 2位	68.5台 3位	70.5台 1位	48.7台
自家用車の保有台数（世帯あたり） （令和3年3月 （一社）自動車検査登録情報協会）	1.581台 5位	1.565台 7位	1.602台 4位	1.037台
自動車免許保有率 （平成30年 栃木県交通年鑑）	71.4% 4位	71.0% 5位	72.0% 1位	65.0%
乗合バス輸送量（人口1人あたり） （2018年 貨物・旅客地域流動統計）	10.73人 36位	16.83人 24位	5.70人 47位	34.38人

現状

✓ 一方、高齢者をはじめとして、**自動車運転免許証の自主返納者は増加傾向**

《栃木県》免許自主返納者数の推移



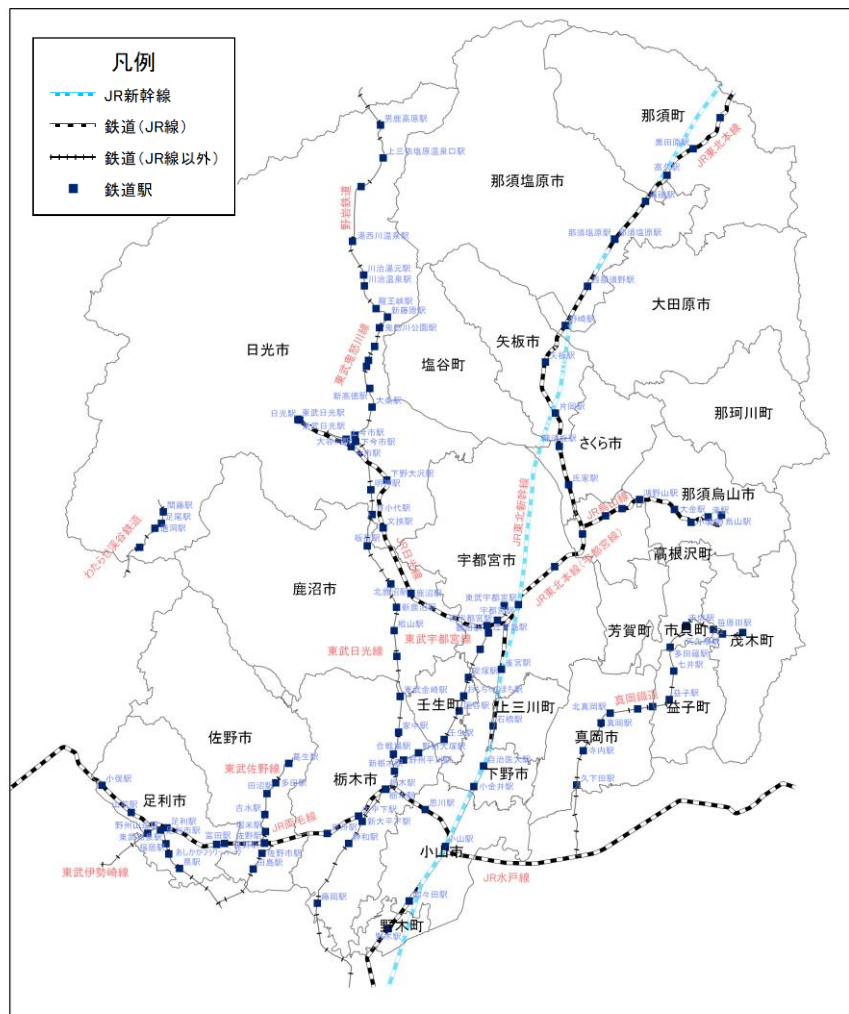
出典：警察庁「運転免許統計」

2-1 鉄道路線網

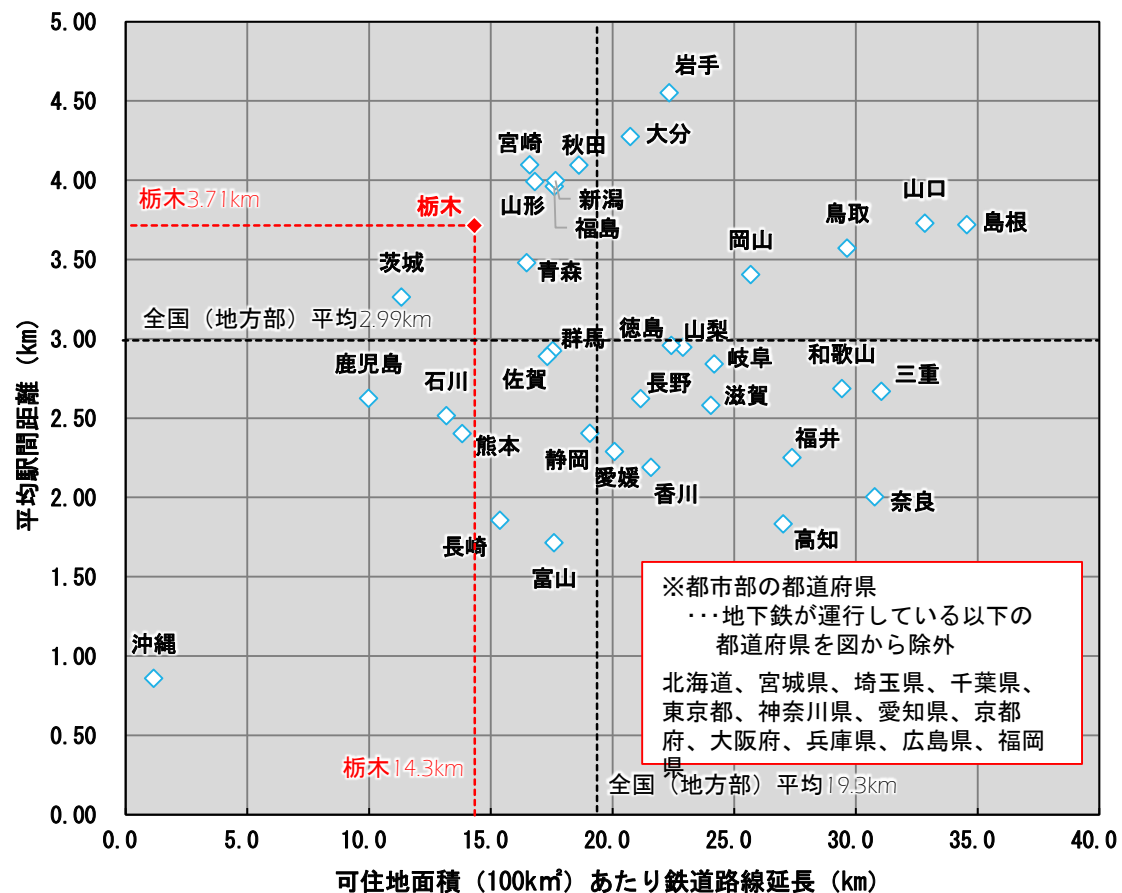
現状

- ✓ 鉄道網を骨格とした広域移動が概ね確保されている
- ✓ 一方で、栃木県の可住地面積あたりの鉄道路線延長は14.3kmであり全国(地方部)平均の19.1kmを下回る
- ✓ また、平均駅間距離においても、栃木県は3.71kmであり全国(地方部)平均の2.99kmよりも長い

栃木県の鉄道路線網



鉄道路線延長と平均駅間距離（都道府県別） ※都市部の都道府県を除く



※可住地面積：総面積から森林・原野・湖沼の面積を除いた面積

資料：地域交通年報（H25）

：「政府統計の総合窓口（e-Stat）」-社会・人口統計体系（2020）

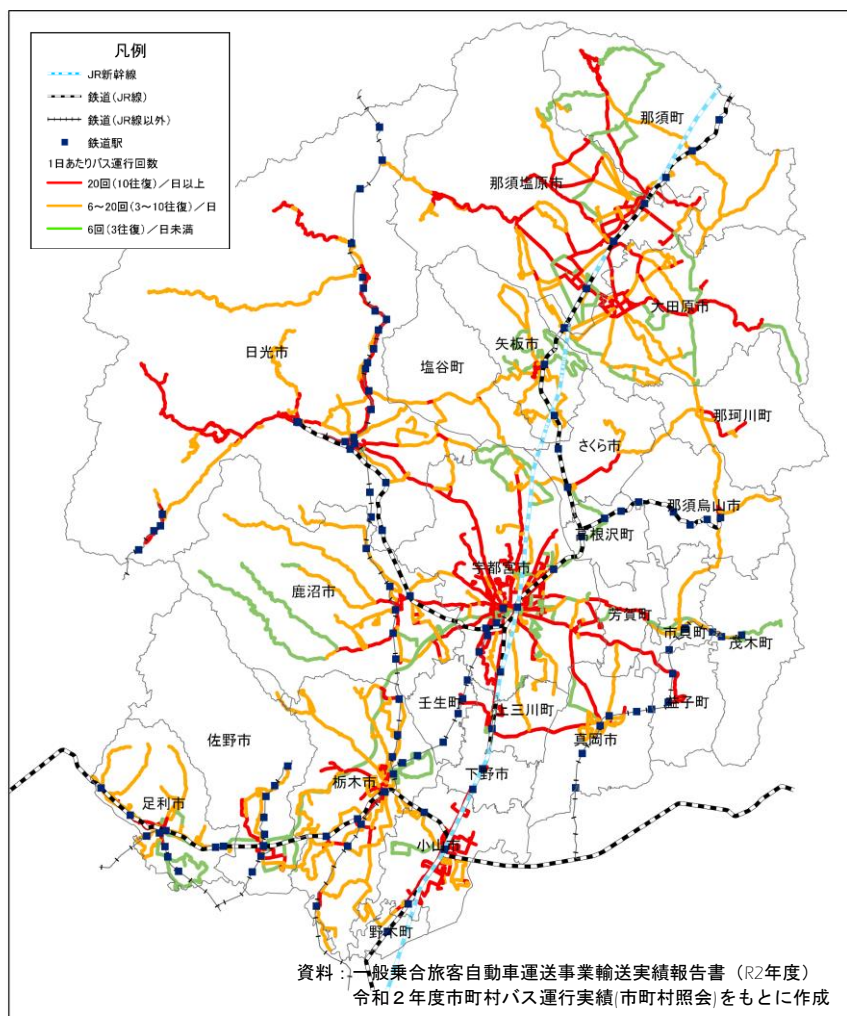
出典：栃木県「とちぎの公共交通」

2-2 バス路線網

現状

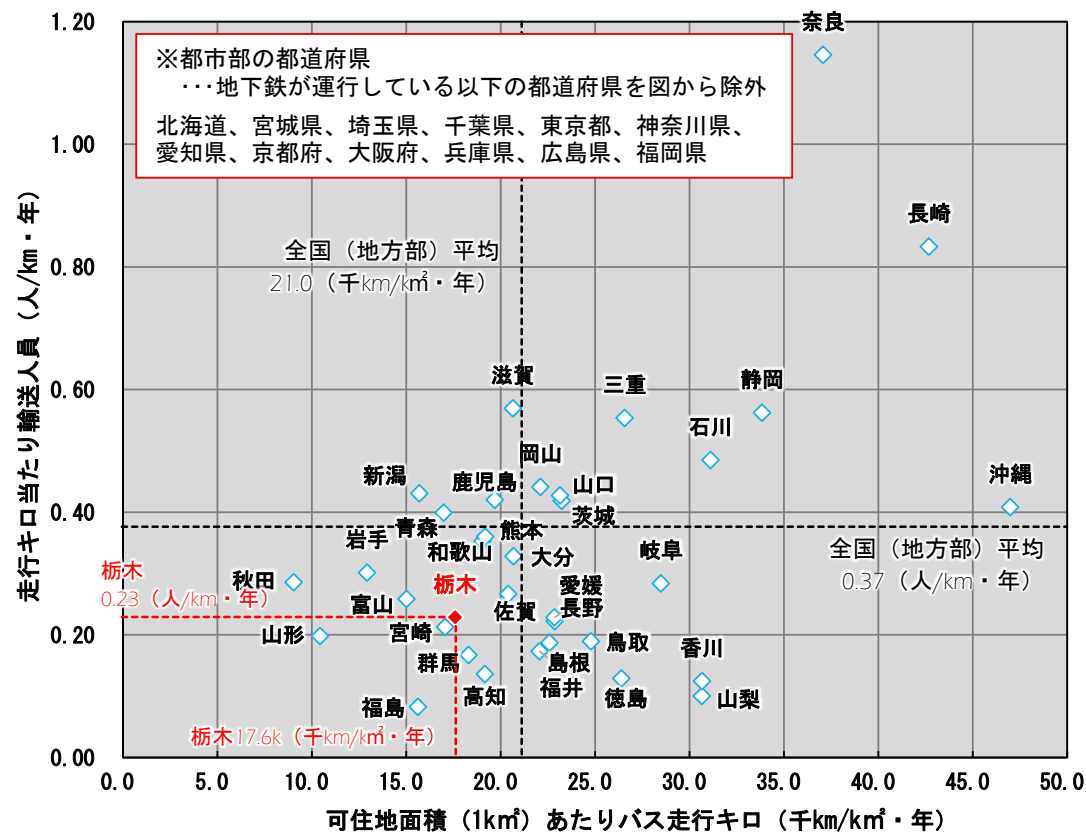
- ✓ 中心都市（宇都宮市）、中心市（栃木市・小山市等）周辺では路線が確保されており、郊外部では鉄道網とつながる路線が運行されているが、運行便数が少なく、また運行のない地域も存在する
- ✓ 栃木県のバス走行キロ当たり輸送人員は0.23人/km・年と全国(地方部)平均の0.37人/km・年を下回る

栃木県のバス路線網



【参考】バス運行回数の目安
6回未満：朝・昼・夕に各1往復程度のサービスも確保されていないレベル

乗合バスの走行キロと輸送人員（都道府県別） ※都市部の都道府県を除く



※バス走行キロ：燃料別走行キロのバス（軽油利用）の集計

※可住地面積：総面積から森林・原野・湖沼の面積を除いた面積

資料：地域交通年報（H25）

：「政府統計の総合窓口（e-Stat）」-社会・人口統計体系（2020）

：自動車輸送統計調査（2020）

：自動車燃料消費量調査（2020）

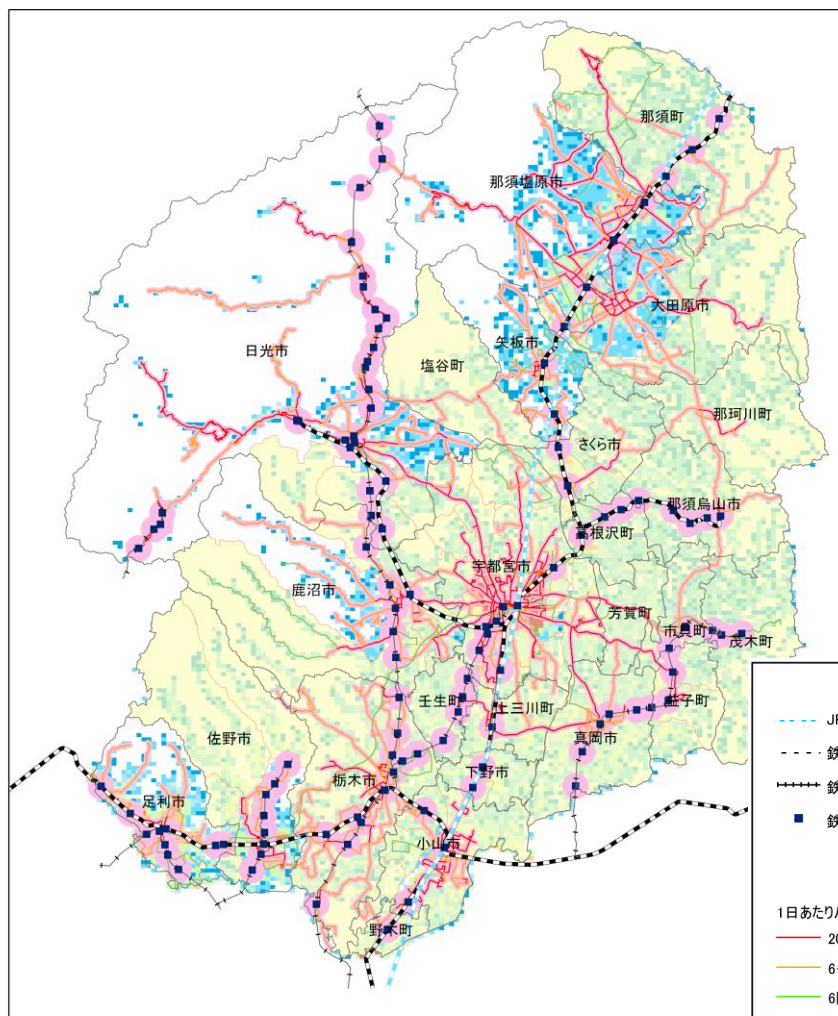
出典：栃木県「とちぎの公共交通」

2-3 人口カバー状況（県全体）

現状

- ✓ バス運行回数6回以上をサービスの確保と考えた場合、栃木県内の公共交通サービス圏域における**人口カバー状況は、市町バスやデマンド交通を含めると栃木県の92.3%をカバー**しており、用途地域内では96.2%となる。
- ✓ 市町バスやデマンド交通を除くと60.4%となる。

栃木県内の公共交通サービス圏域



公共交通サービスの人口カバー状況（県全域）

	全系統	運行回数6回以上	運行回数20回以上
総人口	1,974,255		
鉄道・バスサービス圏域人口	1,861,777	1,822,912	1,724,098
総人口に対する割合	R2 (H20) 94.3% (74.8%)	92.3% (71.0%)	87.3% (63.4%)
デマンド区域運行を除く			
鉄道・バスサービス圏域人口	1,476,026	1,437,161	1,219,601
総人口に対する割合	R2 (H20) 74.8% (74.3%)	72.8% (70.4%)	61.8% (62.8%)
市町バス・デマンド区域運行を除く			
鉄道・バスサービス圏域人口	1,213,062	1,192,293	1,115,733
総人口に対する割合	R2 (H20) 61.4% (56.5%)	60.4% (56.5%)	56.5% (56.5%)
用途地域内人口	1,127,900		
鉄道・バスサービス圏域人口	1,105,669	1,085,387	1,032,704
総人口に対する割合	R2 (H20) 98.0% (88.5%)	96.2% (86.9%)	91.6% (81.9%)

【参考】バス運行回数の目安
 6回未満：朝・昼・夕に各1往復程度のサービスも確保されていないレベル

- ※ 一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書（R2年度）、令和2年度市町村バス運行実績(市町村照会)をもとに作成
- ※ 鉄道駅・バス停のサービス圏域
 - ・ 鉄道については、第二回宇都宮都市圏パーソントリップ調査等における鉄道駅までの平均アクセス時間が5~15分（徒歩・自転車）となっていること等を考慮し、**鉄道駅圏域は半径1.5km**に設定した。
 - ・ バスについては、道路の移動円滑化ガイドライン等で歩行者が気軽に歩ける距離が200~400mとされていること等を考慮し、**バス路線から半径300m圏域**として設定した。
- ※ 用途地域内人口は、H27人口メッシュ(500m)を用い、用途地域内に重心が含まれるメッシュ人口の合計。また、公共交通サービスの人口カバー率が100%の市町村の用途地域内人口は、「人口メッシュから算出した用途地域内人口の総数」と「都市計画基礎調査の用途地域内人口」からの差の係数を「都市計画基礎調査の用途地域内人口」に乗じて算出。

出典：栃木県「とちぎの公共交通」

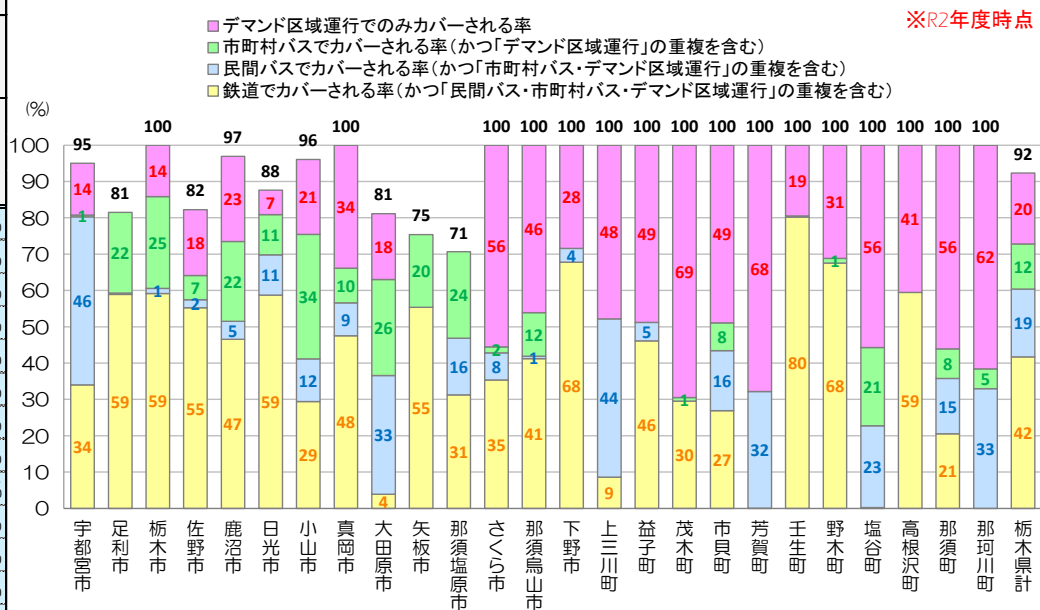
2-4 人口カバー状況（市町村別）

現状

✓ 鉄道・バスでカバーされない地域をデマンド交通でカバーしている。

公共交通サービスの人口カバー率（市町村別）

市町村名	総人口（人）			デマンド区域運行を 除く		デマンド区域運行 ・市町村バスを除く		デマンド区域運行 ・市町村バス ・民間バスを除く	
	公共交通 サービス 圏域人口	総人口に 対する 割合	鉄道・バス サービス 圏域人口	総人口に 対する 割合	鉄道・ 民間バス サービス 圏域人口	総人口に 対する 割合	鉄道・ 民間バス サービス 圏域人口	総人口に 対する 割合	
宇都宮市	518,594	492,780	95.0%	418,940	80.8%	416,259	80.3%	176,372	34.0%
足利市	149,452	121,778	81.5%	121,778	81.5%	88,611	59.3%	88,036	58.9%
栃木市	159,211	159,211	100.0%	136,687	85.9%	96,477	60.6%	94,142	59.1%
佐野市	118,919	97,784	82.2%	76,253	64.1%	68,299	57.4%	65,662	55.2%
鹿沼市	98,374	95,370	96.9%	72,310	73.5%	50,669	51.5%	45,778	46.5%
日光市	83,386	73,083	87.6%	67,426	80.9%	58,229	69.8%	48,982	58.7%
小山市	166,760	160,183	96.1%	125,850	75.5%	68,659	41.2%	49,067	29.4%
真岡市	79,539	79,539	100.0%	52,604	66.1%	45,008	56.6%	37,799	47.5%
大田原市	75,457	61,241	81.2%	47,560	63.0%	27,618	36.6%	2,925	3.9%
矢板市	33,354	25,133	75.4%	25,133	75.4%	18,466	55.4%	18,466	55.4%
那須塩原市	117,146	82,747	70.6%	82,747	70.6%	54,887	46.9%	36,645	31.3%
さくら市	44,901	44,901	100.0%	19,957	44.4%	19,237	42.8%	15,862	35.3%
那須烏山市	27,047	27,047	100.0%	14,576	53.9%	11,330	41.9%	11,157	41.3%
下野市	59,431	59,431	100.0%	42,549	71.6%	42,549	71.6%	40,301	67.8%
上三川町	31,046	31,046	100.0%	16,196	52.2%	16,196	52.2%	2,681	8.6%
益子町	23,281	23,281	100.0%	11,919	51.2%	11,919	51.2%	10,740	46.1%
茂木町	13,188	13,188	100.0%	4,025	30.5%	3,893	29.5%	3,893	29.5%
市貝町	11,720	11,720	100.0%	5,990	51.1%	5,090	43.4%	3,157	26.9%
芳賀町	15,189	15,189	100.0%	4,887	32.2%	4,887	32.2%	4	0.0%
壬生町	39,951	39,951	100.0%	32,180	80.5%	32,180	80.5%	32,051	80.2%
野木町	25,292	25,292	100.0%	17,416	68.9%	17,086	67.6%	17,086	67.6%
塩谷町	11,495	11,495	100.0%	5,088	44.3%	2,618	22.8%	27	0.2%
高根沢町	29,639	29,639	100.0%	17,624	59.5%	17,624	59.5%	17,624	59.5%
那須町	24,919	24,919	100.0%	10,948	43.9%	8,913	35.8%	5,115	20.5%
那珂川町	16,964	16,964	100.0%	6,518	38.4%	5,589	32.9%	0	0.0%
栃木県計	1,974,255	1,822,912	92.3%	1,437,161	72.8%	1,192,293	60.4%	823,572	41.7%



※ 一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書（R2年度）、令和2年度市町村バス運行実績(市町村照会)をもとに作成

※ 鉄道駅・バス停のサービス圏域

- ・ 鉄道については、第二回宇都宮都市圏パーソントリップ調査等における鉄道駅までの平均アクセス時間が5～15分（徒歩・自転車）となっていること等を考慮し、**鉄道駅圏域は半径1.5km**に設定した。
- ・ バスについては、道路の移動円滑化ガイドライン等で歩行者が気軽に歩ける距離が200～400mとされていること等を考慮し、**バス路線から半径300m圏域**として設定した。

※ 鉄道駅・バス停のサービス圏域

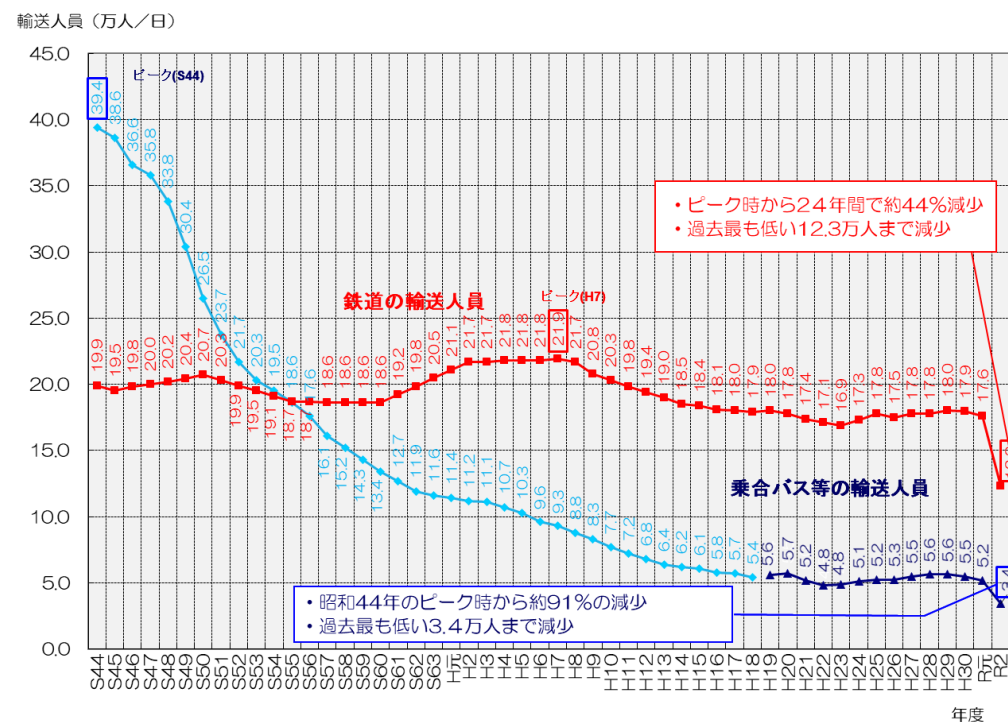
- ・ バス運行回数の目安：6回未満：朝・昼・夕に各1往復程度のサービスも確保されていないレベル

2-5 鉄道・バスの輸送人員

現状

- ✓ 乗合バスはピーク時からH21年ごろまで減少が続き、近年は横ばい傾向であった。
- ✓ R2年は新型コロナウイルス感染症拡大により輸送人員は大きく減少

鉄道・バス輸送人員の推移

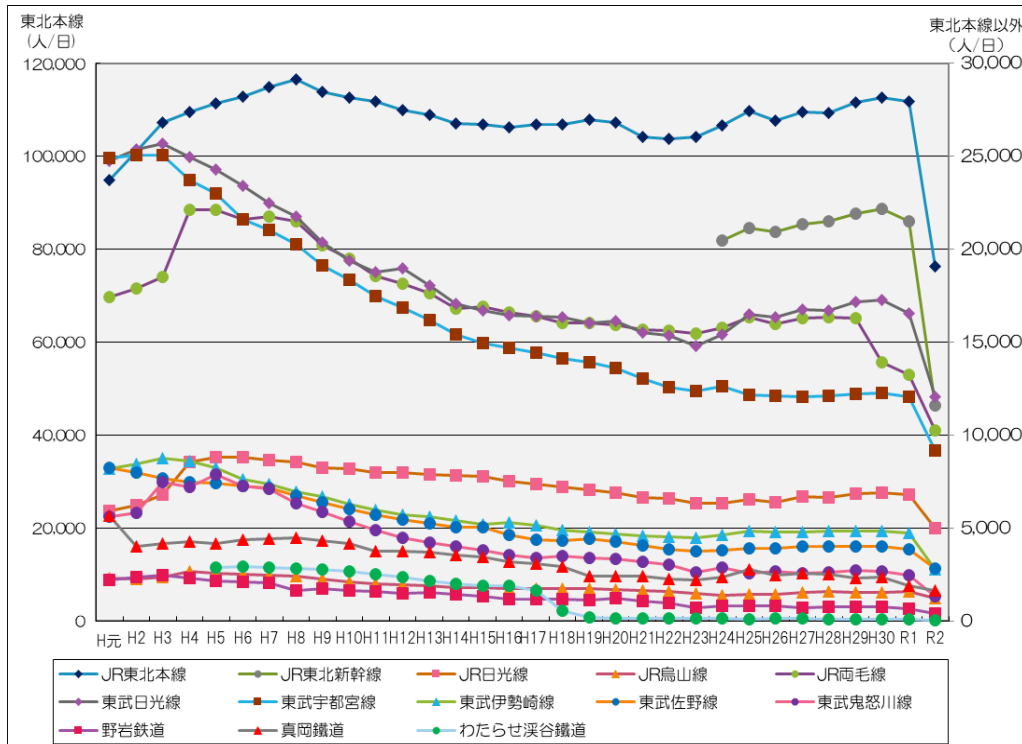


※鉄道の輸送人員は、新幹線を除く。

※H18以前は、道路運送法4条許可以外の市町村バスの輸送人員を含まない。

※乗合バス等の輸送人員には、デマンド交通の実績を含まない。

鉄道の輸送人員の推移（路線別）



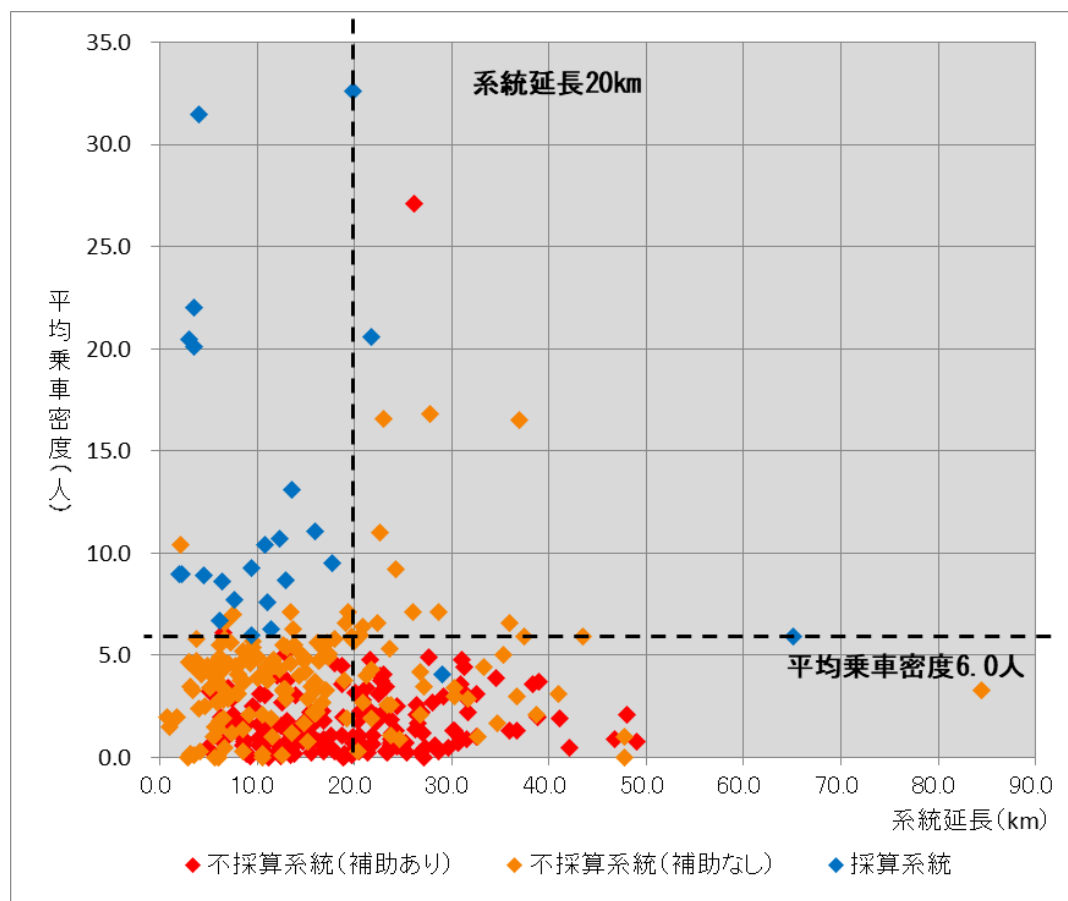
※ H19以降の真岡鐵道、H18以降のわたらせ渓谷鐵道は駅別乗車人員の割合から県内の利用者数を見込み算出した値

2-6 バスの収支率（1）

現状

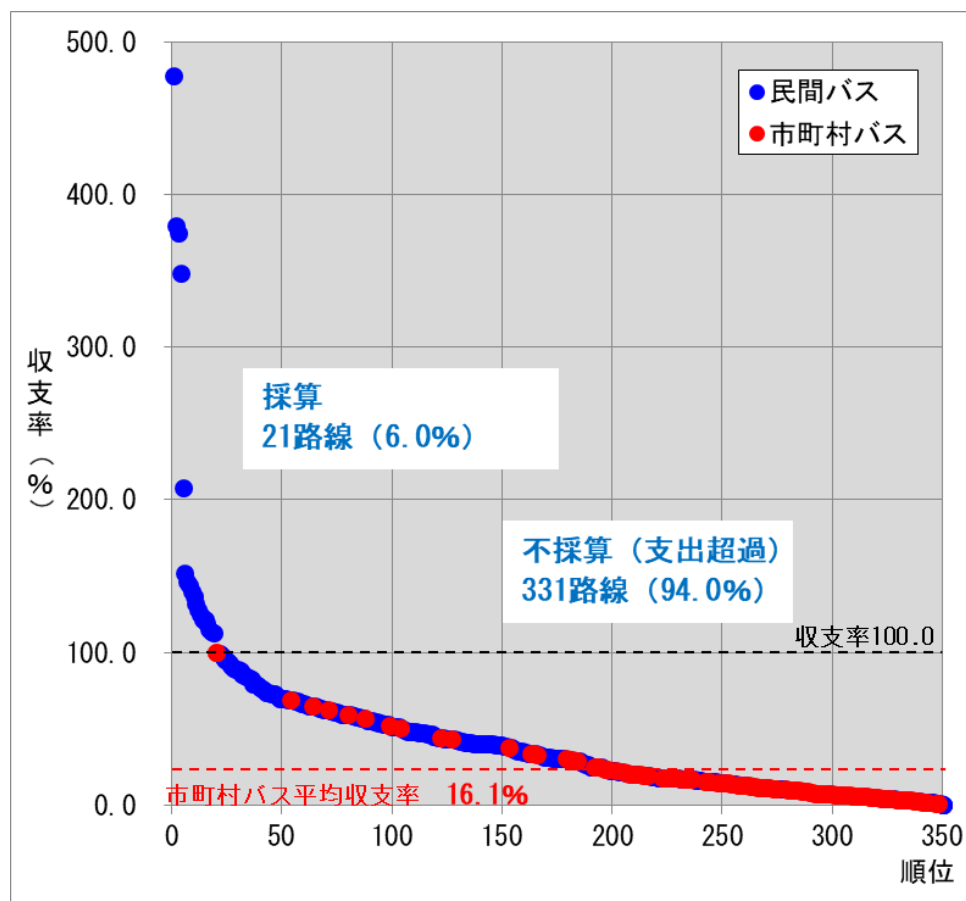
- ✓ 採算がとれている系統は、平均乗車密度が6人以上、系統延長が20km未満のものに多いが、平均乗車密度が比較的高いにもかかわらず、不採算の系統が見られる
- ✓ 採算が確保されている21路線（約6.0%）は大半が民間バス系統であり、市町村バスの平均収支率は16.1%と低い

平均乗車密度・系統延長と採算状況



※ 資料：一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書（R2年度）、令和2年度市町村バス運行実績(市町村照会)より作成

収支率（路線定期運行）



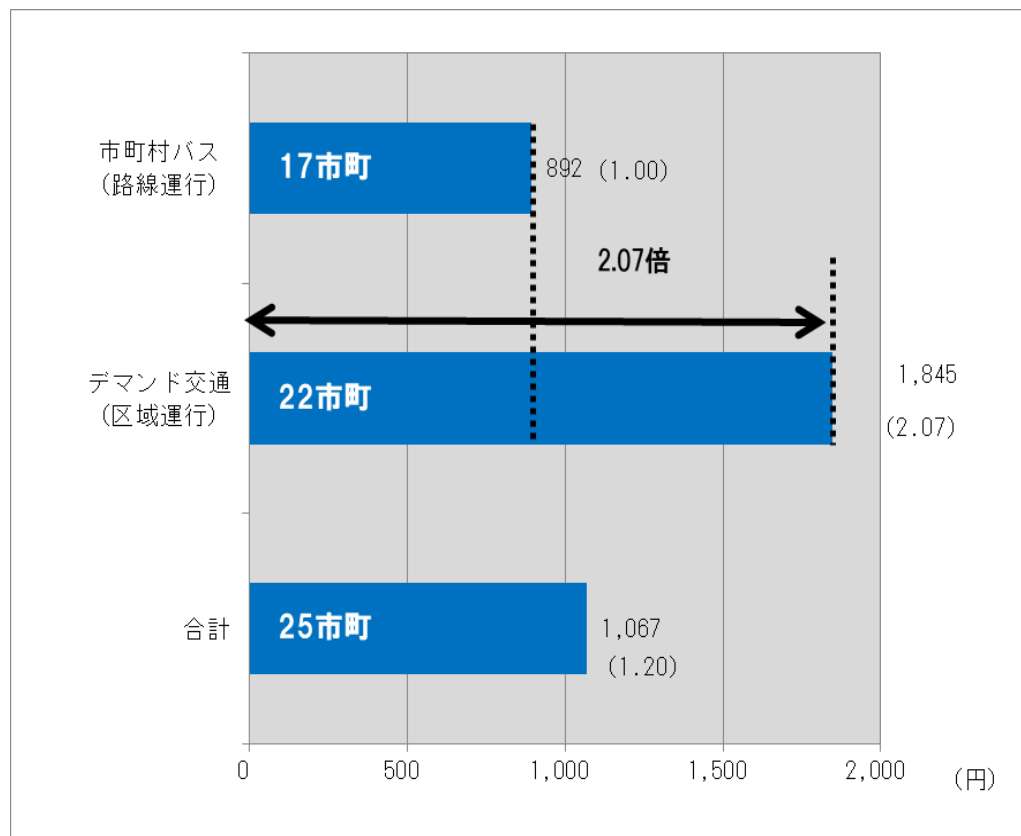
※ 資料：一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書（R2年度）、令和2年度市町村バス運行実績(市町村照会)より作成

2-6 バスの収支率（2）

現状

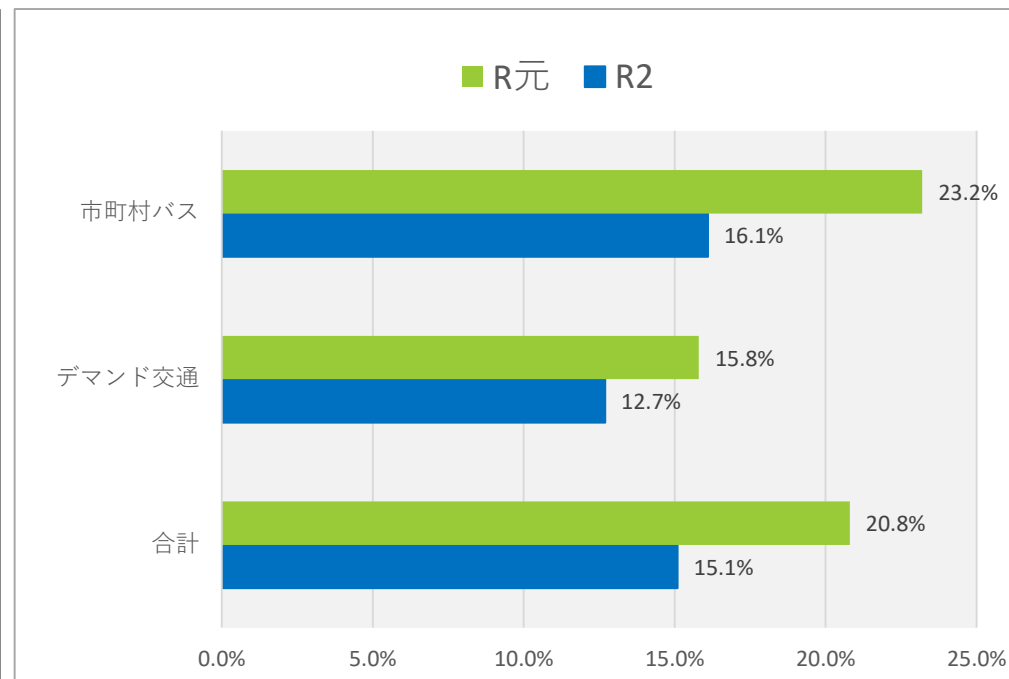
- ✓ 市町村バスとデマンド交通の1人1回利用あたりの平均公費負担額を比較すると、市町村バスは892円、デマンド交通は1,845円となっており、2.07倍の開きがある。
- ✓ 市町村バスの平均収支率は16.1%、デマンド交通は12.7%となっており、**8割以上を公費が負担**している

市町村バスとデマンド交通の比較（1人1回利用あたり平均公費負担額）



※ 資料：一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書（R2年度）、令和2年度市町村バス運行実績(市町村照会)より作成

市町村バスとデマンド交通の比較（平均収支率）



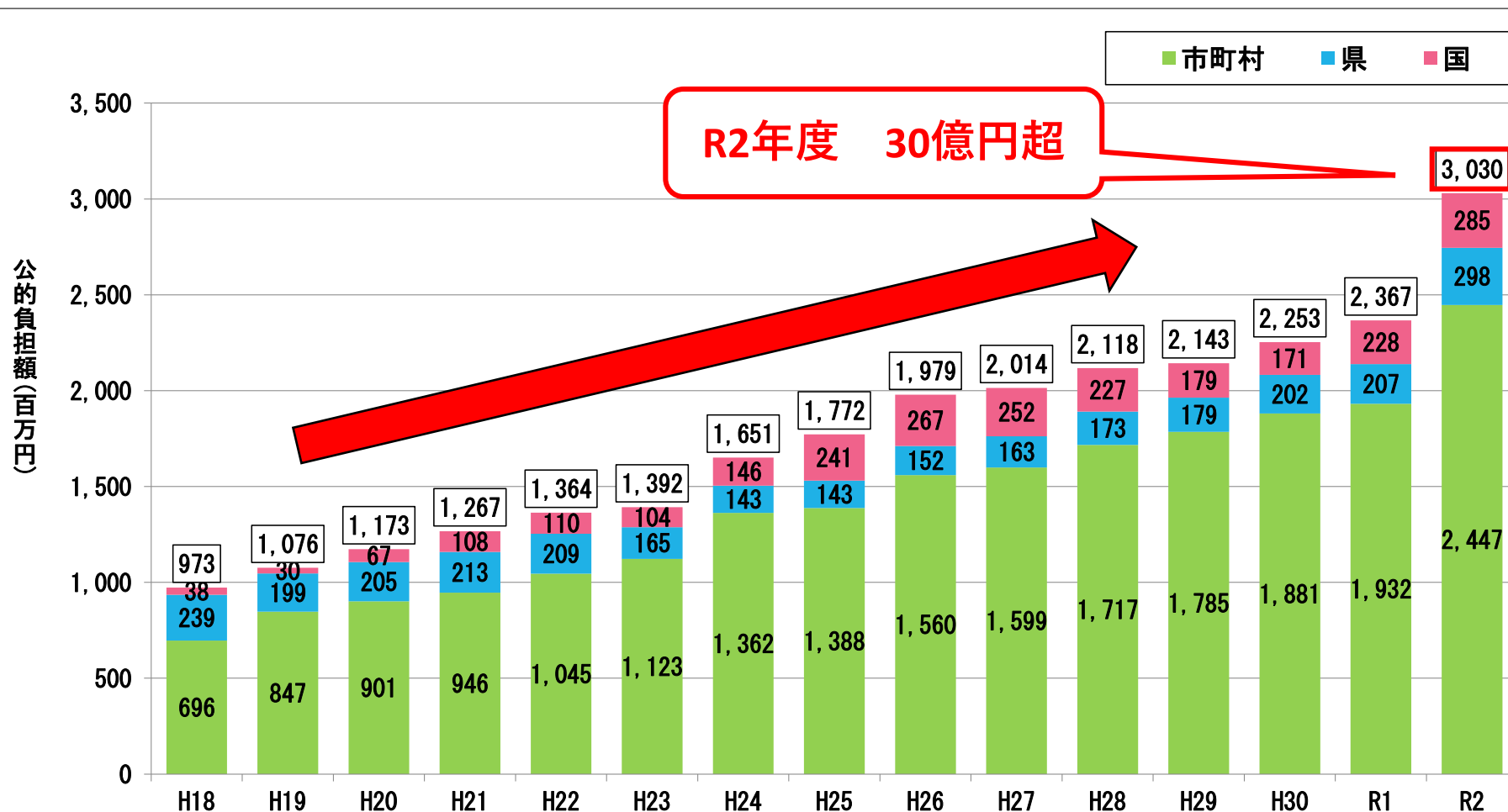
※ 資料：一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書、市町村バス運行実績(市町村照会)より作成

2-7 生活交通運行費補助等の推移

現状

✓ 公費負担額は年々増加している

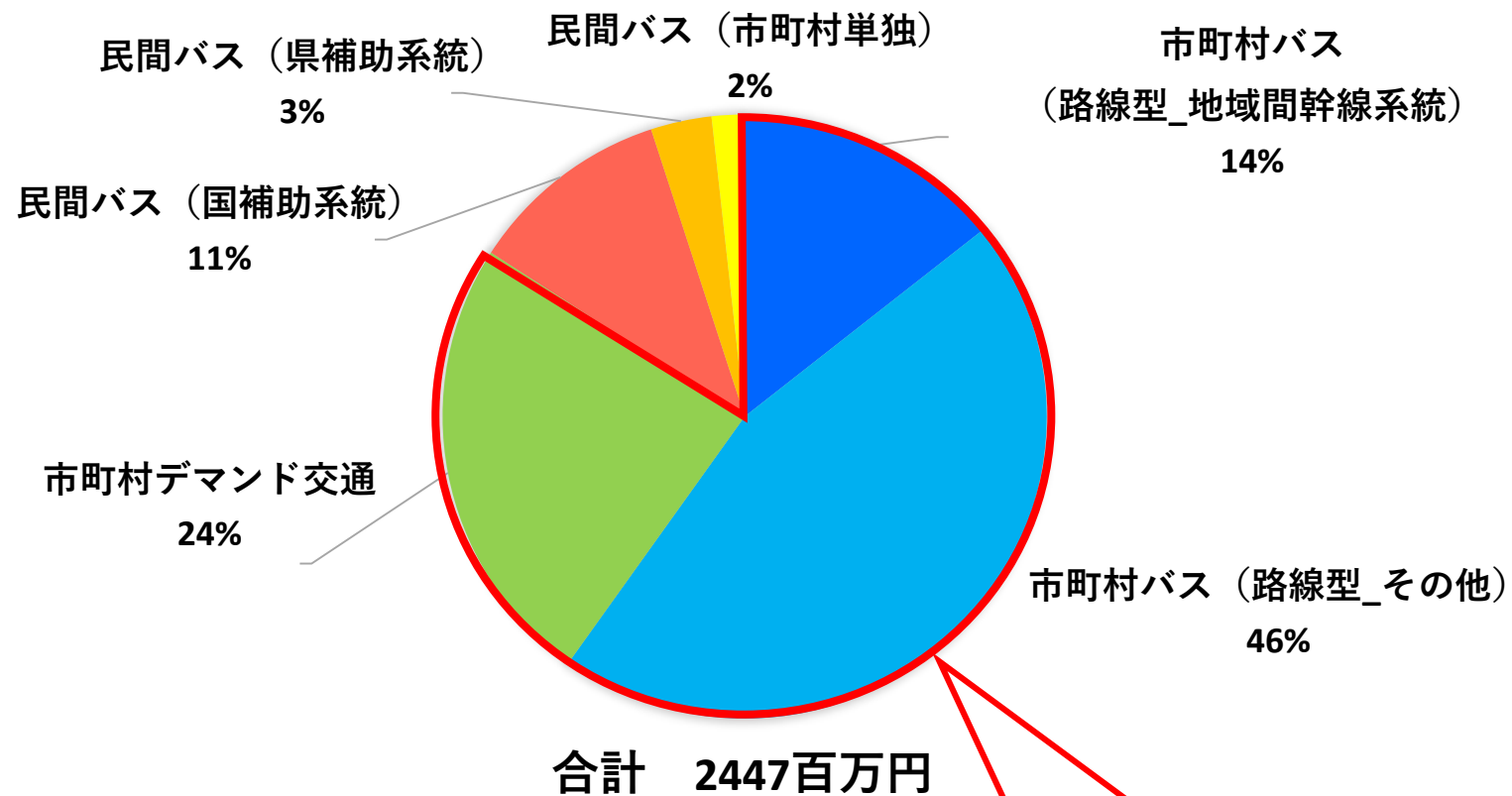
生活交通運行に係る公的補助・負担の推移(国・県・市町村別)



※ 公費負担額は民間路線バスへの補助、市町村が運行する生活交通への補助及び運行経費の合計

出典：栃木県「とちぎの公共交通」

市町村公費負担額の内訳



市町村生活交通計 84%